

ITU-Rでの放送分野の国際標準化作業において、日本の研究開発成果に基づき、地上4K・8K伝送技術、AIの利活用、HDR、VR等に関する入力を行い、勧告やレポート策定等の議論に貢献。

1. 会合概要

- ITU-R SG6(議長:西田専門委員)及びそのWPの会合が、10月15日~26日にITU本部で開催。
- 総務省(放技課樋口官)、NHK、民放から計14名、その他約30の国・機関から約70名参加。
- 寄書数:計226件(日本寄書12件を含む)



西田SG6議長



SDR/HDR変換実機確認の様相(西田議長からRancy氏に説明)

2. 主な結果

【次世代地上デジタル放送】

- 地上4K・8K伝送等、地上デジタル放送高度化に関するレポート案への日本で検討中の伝送技術※の追記に合意(来年7月完成予定)。
※ MIMOによる伝送容量拡大、誤り訂正技術の改良型
- 地上4K・8Kフィールド実験に関するレポートについて、日本での8K SFN実験、韓国でのATSC 3.0の実験を含む改訂が承認。
また、私が現在進行中のDVB-T2による地上4K伝送実験に関する情報を将来的に入力する意向を表明。

【HDR】

- HDR/SDRコンテンツの相互変換法の内、未検討部分について、日本開発の手法の新レポート案への追記に合意(来年4月完成予定)。
- 英BBCが既に盛り込んだ別部分と併せて、実機確認を実施(各技術の有効性が実演により示された。Rancy無線通信局長(当時)も視察。)

【放送におけるAIの利活用】

- 日・英・イラン共同提案によるAI利活用※に関する新研究課題案が採択(今後郵便投票による承認手続きの予定)。※原稿自動生成、SNS分析等
- 具体的作業として、日本の草案を基にAI技術の利活用事例をまとめた新レポートを作成していくことに合意(来年7月完成予定)。

【高度没入型システム(VR/360°映像等)】

- 日本から提案した、VRに用いる映像の仕様に関する新勧告案が合意(今後郵便投票による採択・承認手続きの予定)。

【放送通信連携(IBB)システム】

- IBBシステムに関するレポートへの、日本提案の複数解像度映像サービスの例(フジ・NHKの実験)の追加に係る改訂が承認。
- 独のスマートグラス表示等を含むIBBによる手話提示に関するレポート案(来年4月完成予定)へ、日本提案の手話CG表示について追記。

3. 今後の予定

- 次回会合は来年3月25日~4月5日、ジュネーブで開催。
- 次々回(来年7月)会合までが現研究会期。来年10月の無線通信総会(RA-19)以降、次期研究会期が開始。